

会議概要

1 会議名称

令和元年度第1回大船渡市子ども・子育て会議

2 開催日時

令和元年8月5日（月）13:30～16:30

3 開催場所

シーパル大船渡 大会議室

4 出席者

委員 13名（委員 20名中）

刈谷忠会長、大久保清子委員、鎌田久美委員、金野みゆき委員、小森節子委員、白木澤京子委員、杉山由加里委員、高橋孝嗣委員、新沼順子委員、藤村敏夫委員、星正和委員、細谷ミサヲ委員、山下タエ子委員

事務局ほか7名

生活福祉部長 熊澤正彦、子ども課長 新沼真美、健康推進課長 近江信敏、子ども課課長補佐 安居清隆、同課子ども福祉係長 上野公、同課子育て支援係長 岡崎充博、同課保育係長 村上亮

5 会議の概要

刈谷会長あいさつに続き、事務局説明により以下の協議等を行った。

報告事項（1）大船渡市子ども・子育て支援事業の取組状況について

主な質問、意見等は以下のとおり（要旨）

- ・子育て支援の研修会の参加者はどのくらいか。

〔事務局〕平成30年度は子育て支援員研修の基本型を開催し、12名が参加した。放課後児童クラブ支援員研修では、市内11クラブ、40名程度の職員の参加した。

- ・「放課後児童クラブの適切な運営を支援した」とは、どのような中身なのか。

〔事務局〕各クラブに対しては、子どもの数で補助金算定を行い委託費として支払っている。運営状況を把握したうえ、資金不足となるクラブには、市の独自支援で委託費に上乘せし、また、設備・運営では、市が書面監査を国の基準に基づき例年実施し、基準を満たしていないリスクのあるクラブに対し指導・助言等を行っている。

報告事項（2）ニーズ調査結果（概要版）について

質問、意見等なし

報告事項（3）令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の概要について

主な質問、意見等は以下のとおり（要旨）

- ・副食費の実費徴収については、保護者も納得出来ないところがあると思うので、市から説明できないか。
 - ・保育所・幼稚園等からもいろんな声をどんどん上げた方が良い。
 - ・場合によって、少ない保育料だったはずが増えるなど、保護者から意見が出るかと思われる。無償化は10月からであり、市の対応がはっきりした段階で、保育所等に情報を流して欲しい。
- 〔事務局〕市の独自軽減策に合わせ、副食費の取り扱いについて検討中である。調整できしだい保育所等にお知らせする。

議事 (1) 第2期大船渡市子ども子育て支援事業計画の策定について

主な質問、意見等は以下のとおり（要旨）

- ・「教育・保育」の提供区域等の設定について、案2は市を一つにし、必要に応じてということになると、これまでは11か所、今想定されている所は何か所になるのか。
- 〔事務局〕現在の小学校区10か所になる。
- ・提供区域等の設定を一つとした場合、中心にある大船渡とか盛の人は良いが、三陸とか末崎とか日頃市とかそういう地域の人は納得するのか。
 - ・特に大船渡一中は旧三陸町（越喜来、吉浜）や日頃市が一緒になり、「旧三陸町の方はどうなるのだろう。」という考え方になると思われるが。

〔事務局〕これまでの11区域にしてしまうと、それぞれに1つ必要で、実際は0になる区域もでてくる。全体を一つとして、必要な目標を立てた方が柔軟な対応が可能で、計画上の達成度・進捗度の捉え方も変わってくると思われる。

デメリットは、場合により居住地から利用施設が遠くなることで、例えば市内1か所に施設が必要で、吉浜か末崎かとなれば、難しい判断になりますが、現計画を進めるなかで柔軟な対応が見えて来たと思っている。

第2案ベースで次回の会議に回りたいと考える。その中でも現計画の小学校区単位で提供区域を設定している放課後児童クラブやそういったサービスでは、小学校区単位で提供区域を設定した場合の量の見込で示したい。

(2) その他

大船渡市子育て世代包括支援センターの設置について概要を説明